

令和3年度 活動方針

共通テーマ「主体的・創造的な教育を求めて」

1 活動方針

日本国憲法と教育基本法に立脚し、民間教育団体として、研究の自由を堅持し、教員の資質・指導力の向上を図り、本県教育課題の解決に寄与する。

- (1) 子どもたちの成長と幸福を希求し、主体的・創造的な教育を目指した研究を推進する。
- (2) 専門部会の全県的な組織拡充並びに支部組織の確立を図り、自主的・計画的な研究活動を進める。

2 重点目標

- (1) 現場教員の願いをかなえる研究組織の確立を図る。
- (2) 全県を網羅する研究組織の拡大を図る。
- (3) 児童・生徒の確かな学力定着のために研究活動の充実を図る。
- (4) 新学習指導要領の趣旨に則った取り組みを進める。

3 実践への方策

- (1) 各部会の特性を生かした創造的・自主的な研究活動を推進する。
- (2) 各支部単位の研究体制確立に努める。昨年度から、各支部の研究大会を輪番で県大会とかねて実施している。本年度は東部支部の研究大会が県大会を兼ねる。
- (3) 各支部や専門部会の研究活動を交流し合うとともに、全国的な動向を研修する機会を設ける。
- (4) 部会の開催を全県的に行い、地域に根ざした研究の充実を図るとともに、若手教員の育成に努める。そのために、高知県教育委員会をはじめとする関係機関との連携に努める。
- (5) ホームページ等による効果的な方法で、本大会の取組や、研究成果を発信する。
- (6) 本会の趣旨に賛同する者の加入を積極的に図るとともに、研究の拡充により教員の資質・指導力の向上に努める。
 - ① 本年度の会員数目標を1,100名以上とし、各部会及び支部、個々の会員等が会員拡大に努める。
 - ・ 新規採用教員をはじめとする若年会員の獲得
 - ・ 研究大会、研修会での専門部役員による勧誘
 - ・ 職場での会員による未加入者への勧誘
 - ② 関連団体への組織的な働きかけの継続
 - ・ 土佐研ホームページによる啓発 (<http://www.kochinet.ed.jp/tosa-k/>)
 - ・ 校長会、教頭会等で管理職への勧誘
 - ・ 県教委、地教委等と連携しての勧誘
- (7) 会員増による会費収入の増額に努めるとともに、関係機関からの補助金及び研究助成金の交付を働きかける。